

- 4月の米生産者物価指数は前月比+0.5%と、7カ月ぶりの低い伸びにとどまった。前年同月比では+11.0%と、市場予想の同+10.7%を上回ったものの、過去最高を記録した前月からは伸びが鈍化。
- 4月の中国の生産者物価指数は前年同月比で1年ぶりの低い伸び。欧州は物価高騰が続いているものの、米中の物価指標の一部に鈍化の兆しがみられ、過度の物価上昇懸念は和らぎつつある可能性も。

財は今年に入り、サービスは昨年以降で最低の伸び

12日に米労働省が発表した4月の米生産者物価指数（PPI）は前月比+0.5%と、昨年9月以来、7カ月ぶりの低い伸びにとどまりました。前月は同+1.6%（速報値の同+1.4%から上方改定）と、2009年12月以降で過去最高でした。

内訳をみると、全体の約3分の1を占める財は同+1.3%と、今年に入り最低の伸びでした。およそ3分の2を占めるサービスは同ほぼ横ばいと、昨年以降で最低の伸びでした。財の品目別では、エネルギーが同+1.7%と、2カ月連続で伸びが鈍化しました。

PPIは前年同月比+11.0%と、市場予想の同+10.7%（ブルームバーグ集計。以下、同じ。）を上回ったものの、2010年11月以降の過去最高を記録した前月の同+11.5%（速報値の同+11.2%から上方改定）からは伸びが鈍化しました。振れの大きい食品とエネルギー、商業取引を除いたベース*では同+6.9%と、2014年8月以降の過去最高を記録した前月から小幅に鈍化、足もとの6カ月間はおおむね横ばいの動きとなっています。

中国のPPIは前年同月比で1年ぶりの低い伸びに

中国では、11日に国家統計局が発表した4月のPPIは前年同月比+8.0%と、市場予想の同+7.8%を上回ったものの、昨年4月以来、1年ぶりの低い伸びとなりました。

欧州では、3日に欧州連合（EU）統計局が発表した3月のユーロ圏のPPIは同+36.8%と、市場予想の同+36.3%を上回り、1982年以降の過去最高を9カ月連続で更新しました。エネルギーが同+104.1%と、ひととき高い伸びで1996年以降の過去最高を11カ月連続で更新したことだけでなく、中間財が10カ月連続で2桁の伸びとなったことが全体を押し上げました。

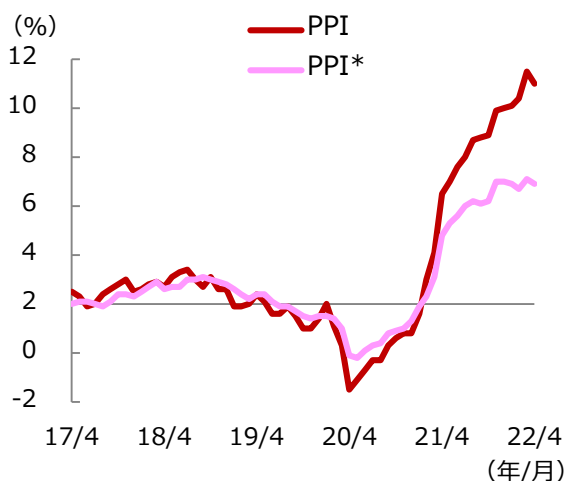
足もとの過度の物価上昇懸念は和らぎつつあるか

11日に米労働省が発表した4月の米消費者物価指数（CPI）は前月比+0.3%と、市場予想の同+0.2%を上回ったものの、8カ月ぶりの低い伸びにとどまりました。

欧州は物価高騰が続いているものの、米中の物価指標の一部に鈍化の兆しがみられることから、足もとの過度の物価上昇懸念は和らぎつつある可能性も考えられます。

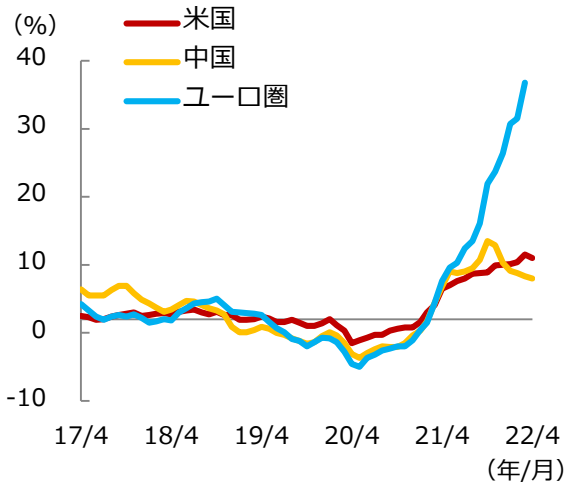
※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

米PPIの推移



* 食品とエネルギー、商業取引を除く
 ※期間：2017年4月～2022年4月（月次）
 前年同月比、季節調整前

各国・地域 PPIの推移



※期間：2017年4月～2022年4月（月次）
 ユーロ圏は2022年3月まで
 前年同月比、季節調整前

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。



アセットマネジメントOne

商号等：アセットマネジメントOne株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.85%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.09%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。